

政策ごとの課題の整理と主要施策（案）の検討

【目次】

第3次射水市総合計画基本構想（たたき台）	1
1-1 未来を担う子どもたちを応援するまち	【未・安】 2
1-2 みんなで学び、豊かな心を育むまち	【未】 3
1-3 誰もが活躍し、認め合うまち	【未】 4
1-4 情報技術でつながるまち	【未・活】 5
2-1 健康で元気に暮らせるまち	【安】 6
2-2 支え合う福祉のまち	【安】 7
2-3 自然と環境を守るまち	【安】 8
2-4 安全な暮らしを守るまち	【安・活】 9
3-1 地域の特性を伸ばすまち	【活】 10
3-2 にぎわいと交流のまち	【未・活】 11
3-3 住みたい・住み続けたいまち	【未・安・活】 12
3-4 社会基盤が整ったまち	【活】 13
4-1 多様な主体の参画によるまちづくり	【未】 14
4-2 戦略的かつ健全な行財政運営	【未】 15

※【未】…未来創造部会 【安】…安全安心部会 【活】…活力元気部会

各ページ右側の「主要施策（案）」に記載する【主な取組（案）】のうち、

- ・ 現行の第2次総合計画にはない新たな観点に基づくものや、新規性のある取組は**赤色のフォント**
- ・ 現行の第2次総合計画に同じ趣旨の取組があるが、第3次総合計画において一層の充実・拡充を図る取組は**青色のフォント**

で記載しています。

未来創造部会	1-1 未来を担う子どもたちを応援するまち 1-2 みんなで学び、豊かな心を育むまち 1-3 誰もが活躍し、認め合うまち 1-4 情報技術でつながるまち 3-2 にぎわいと交流のまち 3-3 住みたい・住み続けたいまち 4-1 多様な主体の参画によるまちづくり 4-2 戦略的かつ健全な行財政運営
安全安心部会	1-1 未来を担う子どもたちを応援するまち 2-1 健康で元気に暮らせるまち 2-2 支え合う福祉のまち 2-3 自然と環境を守るまち 2-4 安全な暮らしを守るまち 3-3 住みたい・住み続けたいまち
活力元気部会	1-4 情報技術でつながるまち 2-4 安全な暮らしを守るまち 3-1 地域の特性を伸ばすまち 3-2 にぎわいと交流のまち 3-3 住みたい・住み続けたいまち 3-4 社会基盤が整ったまち

第3次射水市総合計画基本構想（たたき台）

※R4.2.2 第2回総合計画審議会での意見を受けて追記

将来像（キャッチフレーズ）・・・今後検討 ※参考 現行計画の「将来像」 豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創る きららか射水
 【目標人口】 86,000人 ※第2期射水市人口ビジョンから基本構想の最終年である令和14年（2032年）の目標人口を設定。目標人口は、合計特殊出生率の上昇といった自然増に対する取組や、転出を抑制しながら転入増を図る政策を踏まえて設定したもの。

【基本方針（案）[部]】

第1部 きらめく未来を創造する「いみず」

- ・未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援するまちづくりを進めます。
- ・一人ひとりが自分らしく暮らし、互いに認め合えるまちづくりを進めます。
- ・デジタル技術を活用し、誰もが日常生活の様々な場面で便利さを実感できるまちづくりを進めます。

第2部 自然豊かで安全安心な「いみず」

- ・互いに支え合い、元気に暮らせるまちづくりを進めます。
- ・豊かな自然や美しい景観を守り伝えるため、環境に優しいまちづくりを進めます。
- ・災害等から市民の大切な命と財産を守る安全安心なまちづくりを進めます。

第3部 活気にあふれにぎわう「いみず」

- ・地域の特性や豊かな資源を生かし、賑わいのあるまちづくりを進めます。
- ・利便性が高く、快適に住める「住みたい・住み続けたい」まちづくりを進めます。
- ・人々が行き交い、活発な交流が生まれるまちづくりを進めます。

第4部 協働と共創によるまちづくりの推進

- ・多様な主体が連携し、幅広い分野で協働・共創するまちづくりを進めます。
- ・市民との情報共有を図り、信頼される市政運営を進めます。

【政策（案）[章]】

第1章 未来を担う子どもたちを応援するまち

第2章 みんなで学び、豊かな心を育むまち

第3章 誰もが活躍し、認め合うまち

第4章 情報技術でつながるまち

第1章 健康で元気に暮らせるまち

第2章 支え合う福祉のまち

第3章 自然と環境を守るまち

第4章 安全な暮らしを守るまち

第1章 地域の特性を伸ばすまち

第2章 にぎわいと交流のまち

第3章 住みたい・住み続けたいまち

第4章 社会基盤が整ったまち

第1章 多様な主体の参画によるまちづくり

第2章 戦略的かつ健全な行財政運営

（関連分野の例示）

子育て、学校教育、少子化対策

生涯学習、芸術文化、スポーツ

女性活躍、多文化共生、男女共同参画、人権

情報（DX）

健康、医療、病院、感染症対策

福祉、高齢化対策

環境、循環型社会の形成、エネルギー政策

防災、消防、交通安全・防犯・消費者対策

商工業、企業誘致、農林水産業

観光、地方創生、**関係人口**

地方創生、移住・定住、公共交通

土地利用、道路、港湾、住宅（空き家）、上下水道

市民協働、学生のまちづくり、シティプロモーション

行財政改革、広域行政、公共施設マネジメント

【重点（共通）プロジェクト（案）】

地方創生（人口減少の克服と地域活性化）の推進

- ・SDGsの推進
- ・インクルージョンの推進

- ・DXの推進
- ・アフターコロナのまちづくり

審議会での意見

「**関係人口・交流人口**」
の取扱いの検討

1-1 未来を担う子どもたちを応援するまち【未・安】

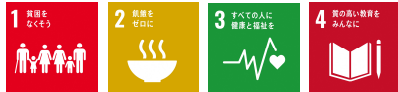
時代潮流・国の動き等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化の進行（晩婚化・未婚化） ・ 近隣関係の希薄化、核家族化等に伴う子育て家庭の孤立化 ・ 保育ニーズの高まり・低年齢化、幼児教育保育の無償化 ・ 学校教育における時代変化への対応 ・ コロナ禍の影響による体験・交流活動の制限

関連データ等からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の労働力率の上昇、ゆるやかになるM字カーブ ・ 児童生徒数の減少 ・ 全国・県と比べて核家族世帯、共働き世帯の割合が高い。

市民意識調査結果からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住み続けたい理由として「地域になじみや愛着があるから」が最も高い。30代では「子育てしやすい環境にあるから」が最も高い。 ・ 「学校教育」の満足度が全施策中最も高く、前回調査よりも増加しており、重要度も高い。 ・ 「子ども・子育て支援」の満足度も上位。

広聴事業での主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠・出産の心理的・経済的負担の軽減のための支援の充実 ・ 子育て親子同士の交流の場の充実 ・ 子どもとの関わり方、発達についての専門的指導・助言 ・ 仕事と子育ての調和に向けた保育の充実と働き方の見直し ・ 特徴的な学校教育による地域活性化、高水準の教育の推進 ・ 不登校や貧困、体調不良等の児童生徒の学びの場の確保 ・ 小学校の適正規模の確保に向けた在り方の検討 ・ 安心して医療を受診できる体制の充実、経済的負担の軽減 ・ 地域の子育て支援を担う人材の育成 ・ 20代、30代の独身や子どもがいない大人への支援策

現行計画の評価での課題・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士や放課後児童支援員等の人材の確保 ・ コロナ禍による子育て世帯や子どもの成長への影響を踏まえた支援 ・ 情報化、価値観の多様化や外国人の増加に対応した教育の推進 ・ 医療的ケア児など支援が必要な子どもへの支援の充実 ・ 学校施設の長寿命化、バリアフリー化、感染対策など ・ 地域での教育の場への参加促進、指導者の確保

主要施策（案）
<p>1. 希望する結婚・出産をかなえるための支援の充実</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出会いの場の創出 ・ 妊娠・出産にかかる精神的・経済的負担の軽減
<p>2. 妊娠期から切れ目のない子育て支援の充実</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親と子の健康づくりの推進 ・ 子どもの発達に関する相談支援の充実 ・ 多様な保育サービス・子育て支援の充実 ・ スマート保育の推進 ・ 子育て世帯の経済的負担の軽減
<p>3. 学校教育の充実</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 確かな学力の定着 ・ スマートスクールの推進 ・ 国際化・情報化、多様性に対応した教育の充実 ・ 郷土愛を育む教育の充実 ・ 特別支援教育の充実 ・ 学校生活における相談支援の充実
<p>4. 家庭教育・地域における教育の充実</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習の推進 ・ 基本的生活習慣の定着支援 ・ 地域における学習・体験の場の充実
<p>5. 教育環境の整備</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設・設備の計画的な整備 ・ 児童生徒の安全確保のための取組の推進 ・ 適正規模・適正配置を踏まえた望ましい教育環境の推進
<p>6. 子ども・若者支援の充実</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困難を有する子ども・若者やその家族の支援 ・ 地域における子ども・若者の居場所、活躍の場の創出 ・ ヤングケアラー支援
持続可能な開発目標（SDGs）


1-2 みんなで学び、豊かな心を育むまち【未】

時代潮流・国の動き等

- ・ コロナ禍に伴う行動制限と時間の使い方等の変化
- ・ 地域の伝統行事への関心の低下
- ・ 芸術文化活動の担い手不足・高齢化の顕在化
- ・ 情報通信技術の発展に伴う幅広い世代への情報発信の多様化
- ・ 健康志向・スポーツに対する関心の高まり

関連データ等からみる課題・特徴

- ・ 生涯学習の各種講座の開催及び受講者の大幅な減少

市民意識調査結果からみる課題・特徴

- ・ 生涯学習活動の推進、芸術文化の継承と創造、スポーツ・レクリエーションの推進において、満足度は平均値より高いものの、重要度は低い評価。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響として、運動・スポーツや文化活動の機会が減った人は8割を超える。

広聴事業での主な意見

- ・ 伝統文化や歴史的価値のある資料等の保存・継承
- ・ 芸術文化活動への若い世代の参加促進や子どもの体験機会の創出
- ・ スポーツ活動、部活動の指導者確保
- ・ プロスポーツ誘致、トップアスリートの育成
- ・ スポーツ施設の整備、老朽化対策

現行計画の評価での課題・今後の方向性

- ・ ウィズコロナにおける新しい生涯学習活動の在り方の模索
- ・ ニーズに応じた魅力的な生涯学習の創出
- ・ スポーツ活動の高度化・多様化や部活動地域移行等に対応するスポーツ指導者の育成・活用
- ・ スポーツ施設の老朽化への対応
- ・ 市民の芸術文化に対する関心の喚起
- ・ 芸術文化活動の担い手の育成と団体の活動支援、他分野との連携
- ・ 計画的、継続的な文化財の保存・活用

主要施策（案）

1. 多様な生涯学習活動の推進

【主な取組（案）】

- ・ ニーズに応じた生涯学習機会の充実
- ・ 郷土について学ぶ機会の充実
- ・ **新たな生涯学習の在り方の検討・推進**

2. スポーツ・レクリエーションの推進

【主な取組（案）】

- ・ スポーツ・レクリエーション団体の活動支援
- ・ スポーツ・レクリエーション施設の充実、利用促進
- ・ **指導者の育成・確保**

3. 芸術文化活動の推進

【主な取組（案）】

- ・ 芸術文化団体の活動支援
- ・ 芸術文化活動の場の提供
- ・ 芸術文化の鑑賞・体験・参加機会の充実
- ・ **次代の活動を担う子ども・若者の育成**
- ・ 文化資源・伝統文化の活用・継承

4. 文化財の保存・活用

【主な取組（案）】

- ・ 文化財の保存・継承
- ・ 文化財の活用と積極的な情報発信

持続可能な開発目標（SDGs）



1-3 誰もが活躍し、認め合うまち【未】

時代潮流・国の動き等

- ・ 女性活躍への期待や性暴力への問題意識など男女共同参画に対する関心の高まりやLGBTQ+といった性的マイノリティへの理解
- ・ 外国人人口の増加に伴う多文化共生社会の形成に向けた動き
- ・ いじめや虐待、SNSでの誹謗中傷等の社会問題化
- ・ コロナ禍の影響による配偶者等からの暴力（DV）の増加
- ・ 新型コロナウイルス感染者や医療従事者・家族等への偏見・差別

関連データ等からみる課題・特徴

- ・ 児童虐待相談件数は増加傾向、高齢者虐待相談件数は横ばいで推移

市民意識調査結果からみる課題・特徴

- ・ 男女共同参画の推進に対する満足度は高いものの、重要度は平均値より低い
- ・ 人権尊重社会の推進では、満足度、重要度ともに低い評価

広聴事業での主な意見

- ・ 女性の積極的な登用、女性人材リストの活用
- ・ 外国人との交流の場・国際ラウンジ等の創出
- ・ 日本語の習得に向けた支援の充実
- ・ 外国人コミュニティとの連携・情報交換と効果的な情報提供
- ・ 「支援」から「共生」へ
- ・ 多様性を理解し、受け入れ、認め合う教育や取組・制度の導入
- ・ 性的指向・性自認の尊重・啓発
- ・ 様々な悩みを抱える人たちが気軽に集える居場所づくり

現行計画の評価での課題・今後の方向性

- ・ 啓発事業を通じた固定的な性別役割分担意識の解消
- ・ 幅広い分野で女性が活躍できる環境づくり
- ・ DV防止に向けた相談体制の充実、関係機関との連携強化
- ・ 外国人の日本語習得に向けた支援の充実
- ・ 多言語による行政情報等の提供及び相談体制の充実
- ・ 人権侵害の早期発見と包括的な支援に向けた横断的な体制の整備

主要施策（案）

- 1. 女性活躍・男女共同参画の推進**

【主な取組（案）】

 - ・ **女性が活躍できる社会環境づくりの推進**
 - ・ **固定的な性別役割分担意識の解消に向けた取組の推進**
 - ・ あらゆる暴力の根絶
- 2. インクルーシブな社会の形成**

【主な取組（案）】

 - ・ 多文化共生社会の形成
 - ・ **性的マイノリティに対する理解の促進**
 - ・ 多様な価値観や違いを認め合う社会の形成
- 3. 国際交流の推進**


【主な取組（案）】

 - ・ 在住外国人との交流促進
 - ・ 日本語教育への支援
- 4. 人権尊重社会の推進**


【主な取組（案）】

 - ・ 人権・権利に対する啓発
 - ・ **子どもの権利尊重社会の推進**
 - ・ 人権相談体制の充実


持続可能な開発目標（SDGs）




5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



16 平和と公正を
すべての人に

1-4 情報技術でつながるまち【未・活】

時代潮流・国の動き等

- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ・SNSの普及と情報発信、コミュニケーションの在り方の変化
- ・SDGsの推進
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響とアフターコロナ・ウィズコロナを見据えた新しい日常の推進

関連データ等からみる課題・特徴

市民意識調査結果からみる課題・特徴

- ・情報化の推進の満足度、重要度はともに低いが、重要度は前回調査と比べて増加している。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響として、テレワークやオンライン会議・授業・講座等が増えた人が2割強、SNSを利用した交流が増えたと回答した人は2割弱
- ・高等教育機関の学生が就きたい職種は「情報・通信・IT関係」が最も高い。

広聴事業での主な意見

- ・様々な分野でのDXの推進
- ・情報系コースを持つ高校・高等教育機関との連携によるDXの推進
- ・市民や外国人の力を活用した効果的なSNS発信
- ・SDGsを射水市の里海・里山から発信

現行計画の評価での課題・今後の方向性

- ・DX推進による効率的・効果的な雪対策の推進、自治会活動の活性化、行財政運営の効率化・生産性の向上等

主要施策（案）

1. 情報化への対応とDXの推進

【主な取組（案）】

- ・DXビジョンの推進
- ・DX推進体制の構築
- ・DX導入の支援
- ・RPA、IoT、AI等の導入による業務の効率化
- ・情報活用能力・情報モラルの習得支援
- ・多様な分野でのデジタル技術の活用

2. 情報技術を活用した効果的な情報発信

【主な取組（案）】

- ・SNS等を活用した効果的な行政情報の提供

3. 新しい日常が定着した社会の形成

【主な取組（案）】

- ・オンライン活用等新たな事業手法の検討・推進
- ・サテライトオフィス等の開設支援
- ・テレワーク・ワーケーションなど多様な働き方の普及促進

持続可能な開発目標（SDGs）



2-1 健康で元気に暮らせるまち【安】


時代潮流・国の動き等
<ul style="list-style-type: none"> ・平均寿命、健康寿命の延伸 ・食生活の変化や運動不足等による生活習慣病の増加 ・社会情勢の変化やストレス、コロナ禍等による心の病気の増加 ・超高齢社会における高齢者の活躍、介護予防の重要性 ・地方における医師不足、地域間偏在 ・新型コロナウイルス感染防止対策と医療体制の確保

関連データ等からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸 ・脳血管疾患、心疾患、がんの標準化死亡比の大幅改善 ・要介護認定者数、認定率の増加 ・市内診療所の減少、薬局の増加、医療従事者の増加 ・市民病院患者数、H29までの減少傾向からやや増加 ・一人当たり医療費は年々増加、全国・県を上回っている

市民意識調査結果からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりに対する満足度、重要度はともに高く、特に重要度は前回調査より大きく増加 ・新型コロナ対策の重要度が全施策中で最も高い ・市民病院の質、運営については、満足度が低く、重要度が高い ・人口減少・少子高齢化の影響として、社会保障費や医療費の増大による現役世代の負担の増加が最も懸念されている ・SDGsで最も関心のある目標は「すべての人に健康と福祉を」 ・高等教育機関学生が希望する職種で「医療関係」が2番目に高い





広聴事業での主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・保健情報等の多様な手段による情報発信の工夫 ・作業療法士、理学療法士の確保 ・体力づくり、健康づくりのための施設・環境の整備 ・介護予防や認知症予防等の企業化 ・市民病院の診療時間の見直し（夜間診療の実施） ・新型コロナウイルスに感染しても安心して治療・療養できる体制の強化

現行計画の評価での課題・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組むための支援 ・ソーシャルキャピタルの醸成と地域ぐるみの健康づくりの推進 ・特定健診受診率の向上 ・高齢者の経験や能力を生かした地域での活躍機会の充実 ・保健事業と介護予防の一体的な取組による効果的な健康づくり、介護予防の推進 ・市民病院の慢性的な医師不足の解消 ・市民病院の計画的な高度医療機器の整備、施設の長寿命化

主要施策（案）
<p>1. 健康づくり・介護予防の推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に健康づくりに取り組むための支援 ・健診・検診の受診促進 ・オンライン健康相談の導入 ・100歳体操等の介護予防、フレイル対策、認知症予防の推進 ・健康を守り支える環境づくりの推進
<p>2. 生きがいづくり・社会参加の促進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きがい、居場所づくり ・経験・能力を生かした就労、地域活動機会の充実
<p>3. 地域医療体制の充実</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民病院と市内医療機関との連携・機能分担 ・医療従事者の確保
<p>4. 市民病院における医療の質の向上と健全な運営</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療体制、災害対応体制の充実 ・高度で質の高い医療、特色ある医療の提供 ・経営基盤の強化と医療業務機能の向上 ・医師の確保
<p>5. 新型コロナウイルス等感染症対策の推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策の推進 ・感染者の受診・治療・療養体制の強化
持続可能な開発目標（SDGs）
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>

2-2 支え合う福祉のまち【安】

時代潮流・国の動き等
<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会の実現に向けた取組の推進 ・介護ニーズの高まりと現役世代の減少を見据えた介護保険制度の維持 ・障がい者の重度化・高齢化を見据えた地域生活支援拠点機能の充実 ・重層的支援体制整備事業の推進 ・コロナ禍の長期化に伴う生活困窮者の増加
関連データ等からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年には、高齢化率36.4%、要介護認定率23%まで上昇すると見込まれる ・高齢夫婦のみ世帯、高齢者のひとり暮らし世帯の増加 ・身体障害者手帳交付者は減少傾向、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳交付者は増加傾向
市民意識調査結果からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会対策、地域福祉の推進、社会保障の充実については、満足度、重要度ともに高く、特に地域福祉、社会保障の重要度が上位 ・コロナ禍の影響により、自分や家族の収入が減った人は3割弱
広聴事業での主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・誰一人取り残さないため、小さな声に耳を傾け寄り添った支援 ・多様な手段による情報発信の工夫 ・顔の見える関係、つながりの創出 ・専門的人材や福祉の担い手の育成・確保 ・地域ごとの課題を地域が解決する体制づくり ・充実した生活支援ネットワークの構築 ・相談窓口の一元化 ・コロナ禍における金銭面での支援の強化 ・高齢者が特技を生かし活躍し、社会参加しやすい環境の整備
現行計画の評価での課題・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・「いみず地域共生プラン」に基づく地域共生社会実現に向けた取組 ・介護従事者の確保・定着とサービス基盤の整備推進 ・多職種連携による包括的な支援、多様な主体による支え合い ・障がい者の安全・安心な地域生活の継続に必要な支援体制の整備・強化 ・市民後見人の養成と法定後見支援員としての活動の推進

主要施策（案）
<p>1. 地域共生社会の実現に向けた体制づくり</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合いネットワーク事業の推進 ・多様な主体による地域福祉活動の促進 ・多職種間の連携強化 ・重層的支援体制の構築 ・社会参加、生きがい・活躍の場の創出
<p>2. 高齢者福祉の充実</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービスの充実 ・介護予防・日常生活支援の充実 ・在宅福祉対策の充実 ・認知症施策の充実
<p>3. 障がい者福祉の充実</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいに対する理解促進・差別解消、合理的配慮の推進 ・障がい福祉サービスの充実
<p>4. 社会保障の充実</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種社会保障制度の適正かつ安定的な運営 ・生活困窮者の自立支援
<p>5. 権利擁護の推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の利用促進 ・虐待防止対策の強化
持続可能な開発目標（SDGs）
   

2-3 自然と環境を守るまち【安】


時代潮流・国の動き等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境問題に対する世界的な関心の高まりと保全に向けた動き ・ 2050年カーボンニュートラル実現に向けた再生可能エネルギー創出等の取組の推進 ・ 気候変動、生物多様性の影響に対する関心の高まり ・ 森林環境税・森林環境譲与税の創設

関連データ等からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ年間搬入量は平成27年度以降、概ね横ばいで推移、令和元年度に増加

市民意識調査結果からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全の推進に対する満足度、重要度はいずれも高く、全施策の中でも上位、重要度は前回より増加 ・ 循環型社会の構築に対する満足度は低く、重要度は平均値よりやや高い ・ 転入者調査では、射水市の住みやすさとして「公園や自然環境」の割合が最も高い ・ SDGsで関心のある目標として「気候変動に具体的な対策を」の割合が高い

広聴事業での主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチック消費量そのものを減少させることが重要 ・ 海岸等の清掃を行うボランティア体制の構築 ・ 里海・里山からのSDGsの発信 ・ 射水南部丘陵地域の自然との共生と均衡のとれた開発 ・ エネルギーの地産地消の推進

現行計画の評価での課題・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全意識の高揚に向けた情報発信、環境学習・教育機会の充実 ・ 地域が主体となって環境保全・美化に取り組む体制の整備 ・ 環境保全活動に取り組む個人・団体等の育成・支援 ・ ごみ減量・分別意識の向上 ・ 事業系ごみの実態把握と減量化・資源化の促進

主要施策（案）
<p>1. 環境保全の推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全意識の高揚、啓発 ・ 多様な主体による環境保全・美化活動の推進 ・ 生活環境保全、汚染防止対策の推進
<p>2. 自然環境の活用・共生</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生物多様性の確保、希少生物の保護 ・ 里海・里地・里山の保全と活用及び新たな創造 ・ 教育活動、観光と連携した取組の推進
<p>3. 資源循環型社会の形成</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物排出抑制の推進 ・ 資源有効利用の推進
<p>4. カーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生可能エネルギーの創出 ・ 省エネルギーの推進 ・ CO₂吸収源の永続的担保
持続可能な開発目標（SDGs）


2-4 安全な暮らしを守るまち【安・活】

時代潮流・国の動き等

- ・全国各地での大規模な自然災害の発生、被害の甚大化
- ・国土強靱化に向けた取組の推進
- ・高齢者ドライバーの交通事故、あおり運転の社会問題化
- ・情報通信技術の高度化、普及等に伴う新たな犯罪・消費者トラブルの発生と内容の複雑化・高度化

関連データ等からみる課題・特徴

- ・令和元年度作成の洪水ハザードマップでは、市内の65%が浸水想定区域内にある
- ・平成28年以降の出火件数は10~20件で推移
- ・救急出動件数は、平成30年まで増加傾向、その後減少に転じる
- ・交通事故件数は10年間で大きく減少も、死亡事故のほとんどが高齢者
- ・犯罪件数も減少傾向にあるが、非対面の特殊詐欺やサイバー犯罪、女性が被害者となる犯罪等が増加傾向

市民意識調査結果からみる課題・特徴

- ・消防・救急体制、交通安全・防犯対策、消費者対策に対する満足度、重要度はともに高く、特に消防・救急体制の重要度は全施策中で最も高い
- ・防災・減災対策に対する満足度は平均よりやや低く、重要度は高い
- ・雪対策の満足度が全施策中最も低く、前回調査時と比べても減少

広聴事業での主な意見

- ・誰もが安心して過ごせる避難所の運営
- ・被災者に寄り添った対応・配慮
- ・太陽光パネルの設置による森林の保水力低下への懸念
- ・女性の視点を活かした地域防災活動の推進
- ・河川の治水対策
- ・市民の雪対策に対するニーズに応える予算配分

現行計画の評価での課題・今後の方向性

- ・自助・共助・公助の連携による防災・減災対策と国土強靱化の推進
- ・大規模災害に備えた避難支援体制の強化
- ・消防需要に対応した消防力の確保、消防団の活性化
- ・救急救命士の確保と救急隊員の資質向上
- ・住宅用火災警報器の設置促進及び適正設置の啓発
- ・高齢者の事故防止対策の強化
- ・犯罪被害防止に向けた広報・啓発と犯罪の起こりにくい地域づくり
- ・消費生活相談体制の強化と消費者被害に関する情報提供・啓発
- ・除雪の担い手確保、消雪施設の適切な維持管理、DXによる雪対策

主要施策（案）

1. 防災・減災対策、国土強靱化の推進

【主な取組（案）】

- ・防災体制の強化、自主防災組織への支援
- ・防災士の育成
- ・防災基盤の整備
- ・雨水対策の推進（関連3-4-5）
- ・危機管理体制の強化
- ・要配慮者に対する避難行動支援体制の強化（関連2-2-1）

2. 消防・救急体制の強化

【主な取組（案）】

- ・救急・救助体制の充実
- ・消防力の維持・強化
- ・消防施設の計画的な整備
- ・防火対策の推進

3. 雪対策の推進

【主な取組（案）】

- ・機械除排雪の充実
- ・市民が主体となった除排雪活動の推進
- ・DXによる効率的・効果的な雪対策の推進

4. 交通安全・防犯対策、消費者対策の推進

【主な取組（案）】

- ・地域で見守る体制の整備
- ・地域における交通安全、防犯活動の推進
- ・交通安全、防犯施設の整備・充実
- ・被害等に関する相談体制の強化

持続可能な開発目標（SDGs）



3-1 地域特性を伸ばすまち【活】





時代潮流・国の動き等
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、東京一極集中を是正するための地方創生の推進 ・ふるさと納税を通じた地域産業の振興、魅力の発信 ・生産人口減少に伴う産業の担い手不足、高齢化 ・デジタル技術の活用等による付加価値、生産性の向上に向けた動き ・コロナ禍による経済、雇用、働き方への影響

関連データ等からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・富山新港の外貿コンテナ取扱本数は令和2年に減少 ・貨物量は、平成30年以降、輸出が減少傾向、輸入が増加傾向 ・商業、製造業ともに、事業所数は減少傾向、従業員数が増加傾向 ・製造業出荷額等はリーマンショックで大きく減少、その後回復傾向 ・農業経営体、漁業経営体ともに減少傾向、農業従事者の高齢化 ・漁獲高は、平成27年まで増加傾向もその後は減少傾向が続く

市民意識調査結果からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・港湾機能整備促進、森林・林業、職場環境では、満足度が高いものの、重要度が低い ・新産業育成、商工業、雇用対策では、満足度、重要度ともに高い ・企業誘致、農業、水産業・水産加工業では、満足度、重要度ともに低い ・引越したい理由として「買い物や医療など日常生活が不便」が上位 ・高等教育機関学生が希望する職種で「工業・製造業関係」が上位




広聴事業での主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業・水産業など生産性、付加価値を高める取組 ・新規就農（漁）者、担い手の育成・確保、事業承継、創業支援 ・地産地消、食育、魚食文化の普及、水産資源の持続 ・子どもたちの職業観の醸成、10年後に働ける環境づくり ・ワークライフバランスを実現する職場環境づくり ・性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる就労環境の充実

現行計画の評価での課題・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・射水食材のPR、販路拡大、高品質化、加工品の開発・販売支援 ・情報通信技術の導入、DX推進等と産学官金連携による競争力のある商品・サービス開発支援、ベンチャー支援 ・魅力的な助成金による企業誘致、新たな企業用地造成の促進 ・担い手への農地集積、高収益作物の取組、6次産業化 ・カーボンニュートラル実現へ向けた取組の推進と森林環境譲与税の活用 ・漁港機能施設の整備促進 ・魚価向上に向けた取組、環境保全・資源維持のための取組の推進 ・スマート農業・林業、水産業、バイオマス事業等の推進

主要施策（案）
<p>1. 商工業の振興</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営基盤の強化、事業承継支援 ・商店街活性化への支援 ・新技術・新製品の開発支援 ・産学官金連携、異業種間連携の促進 ・市内企業のデジタル化推進 ・新しい経済循環の創出
<p>2. 農林漁業の振興</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業・漁業の推進 ・高品質・収益性の高い農産物生産の推進 ・つくり育てる漁業の充実 ・多面的機能を持つ森林・林業の育成 ・生産基盤の整備と安定的な経営支援 ・販路の拡大、地産地消の推進 ・担い手の育成・確保
<p>3. 企業誘致・創業支援</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良企業の誘致の推進 ・次代を担う創業支援の充実
<p>4. 雇用対策の充実と職場環境の向上</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業・雇用に関する情報提供 ・職業能力開発支援 ・女性、高齢者、障がい者等の雇用促進、就労の場の充実 ・ワークライフバランスの実現に向けた職場環境の整備推進
持続可能な開発目標（SDGs）
   

3-2 にぎわいと交流のまち【未・活】

時代潮流・国の動き等
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限による観光・イベント等への影響 ・人口減少時代における関係人口拡大の重要性 ・外国人人口の増加や多様な価値観への理解促進、多文化共生社会の実現に向けた取組の推進
関連データ等からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・富山県内の観光施設入込者数の上位には、海王丸パーク、太閤山ランド、道の駅カモンパーク新湊が常時ランクイン ・内川周辺では、映画やドラマの撮影が多い ・コロナ禍による観光客入込数の大幅な減少 ・市内外国人人口の増加
市民意識調査結果からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興、国内外交流の満足度、重要度はともに低い ・射水ブランド確立では、満足度が高いものの、重要度が低い ・コロナ禍の影響により外出機会が減った人は9割弱に及ぶ
広聴事業での主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・クロスベイ新湊の幅広い活用 ・海王丸パーク、新湊大橋、海、立山、祭りなど観光資源の活用 ・農水産物のブランド化、6次産業化、DXの推進 ・新たなブランドの発見と魅力ある情報発信 ・個人、マイクロツーリズムへの移行 ・需要と情報発信のタイミングのマッチ ・観光資源へ誘導するわかりやすいサインの設置
現行計画の評価での課題・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ収束後のインバウンドを含めた多様な旅行ニーズの多様化への対応 ・ベイエリア東西埋立地における未利用地の有効活用 ・イベントなど様々な機会を通じた日本人と外国人との交流

主要施策（案）
<p>1. 観光の振興</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の活用・充実 ・効果的な情報発信 ・観光基盤、受入体制の充実
<p>2. 交流人口の拡大と関係人口の創出</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入拠点の利活用 ・二地域居住の推進 ・市出身者等とのつながり強化
<p>3. 射水ブランドの確立と付加価値の向上</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・射水ブランドの育成・確立と効果的な発信 ・特産品の開発、6次産業化の推進
<p>4. みなとまちづくりの推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾や海岸等、水辺空間を生かしたにぎわいづくり ・ベイエリアと内川周辺との連携
<p>5. 姉妹都市・友好都市との交流促進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県千曲市、北海道剣淵町との交流促進 ・台湾台北市士林区との交流促進
持続可能な開発目標（SDGs）
  

3-3 住みたい・住み続けたいまち【未・安・活】

時代潮流・国の動き等

- ・ 移住・定住を促進する受け皿としての魅力的な住環境ニーズ
- ・ 人口減少等に伴う空き家の増加と有効活用の動き

関連データ等からみる課題・特徴

- ・ 住宅総数は増加傾向、1住宅当たり人員は減少傾向
- ・ 空き家は平成23年度から5年間で186戸増加、空き家率5.6%
- ・ 公共交通機関利用者は近年増加傾向にあったが、コロナ禍の影響により令和2年度は大きく減少

市民意識調査結果からみる課題・特徴

- ・ 住宅環境の満足度は全施策中3番目に低い
- ・ 住み続けたい理由として「現在の住宅に満足しているから」が上位
- ・ 転入者が住みにくいと感じている点は「買い物環境」が最も高い
- ・ SDGsで関心のある目標について「住み続けられるまちづくりを」が2番目に高い
- ・ 公共交通網は、満足度は低いが、重要度は高い評価となっており、力を入れるべき施策に位置付けられる
- ・ 転入したきっかけは「住宅の都合」が「仕事」に次いで高い
- ・ 転出したきっかけは「住宅の都合」が「仕事」「結婚」に次いで高い

広聴事業での主な意見

- ・ 空き家が密集する地域での若者家族が移住できる居住空間の創出
- ・ 内川沿いの空き家のリノベーション・シェアハウスの整備
- ・ 若者の移住促進は将来の空き家を生むことが考えられるため、コンパクトなまちづくりを進めるべき
- ・ 老後の移住の場所としてのかたちも検討すべき
- ・ 自動運転を含めた電動バス導入、デマンドタクシーの全域化
- ・ 利用者目線に立った利便性の高い公共交通網の構築

現行計画の評価での課題・今後の方向性

- ・ 豊かな住生活の実現に向けた住宅施策の推進
- ・ コミュニティバス・デマンドタクシーの運行の効率化と利用促進
- ・ 効率的な公共交通網の構築と先端技術の活用を見据えた取組
- ・ 高齢者の近距離移動を支える地域主体の取組への支援
- ・ ライフスタイルの変化やコロナ禍の影響等から地方移住への関心が高まっている状況を鑑みた移住・定住施策の推進

主要施策（案）

1. 住宅環境の充実

【主な取組（案）】

- ・ 生活しやすく魅力的な住環境の整備

2. 空き家の有効活用

【主な取組（案）】

- ・ 空き家の適正管理及び有効活用の促進
- ・ マッチングの充実による空き家の活用

3. 公共交通網の整備

【主な取組（案）】

- ・ まちづくりと連携した公共交通網の整備
- ・ 持続可能な公共交通の仕組みづくり
- ・ 暮らしを支え、交流を促す交通機能の充実

4. 移住・定住の促進

【主な取組（案）】

- ・ 移住・定住に関する情報提供・発信の充実
- ・ 空き家の活用促進

持続可能な開発目標（SDGs）



3-4 社会基盤が整ったまち【活】

時代潮流・国の動き等

- ・社会基盤の老朽化への対応と耐震化の推進

関連データ等からみる課題・特徴

- ・人口減少に伴い給水人口は減少、核家族化・単身世帯の増加により給水世帯数は増加
- ・公共下水道の水洗化人口・普及率は増加傾向、農業集落排水の水洗化人口は減少、普及率は増加

市民意識調査結果からみる課題・特徴

- ・道路網、上水道、下水道は満足度、重要度ともに高く、特に下水道は満足度、重要度いずれも全施策中2番目に高い
- ・土地利用については、満足度が高く、重要度が低い
- ・引っ越したい理由は「交通の便が悪いから」が最も高い

広聴事業での主な意見

- ・道路の危険箇所の改善、安全確保、歩道のバリアフリー化
- ・空き家、空き地の利活用
- ・空き地や公園等を活用したキャンプ可能な場の整備
- ・河川の治水対策

現行計画の評価での課題・今後の方向性

- ・地籍調査の実施
- ・地域特性を生かした個性あふれる生活空間の整備推進
- ・公園施設・遊具等の計画的な改築・更新
- ・幹線道路整備による物流拠点へのアクセス強化及び交通網の形成
- ・ネットワーク形成と安全・安心な歩行空間の確保
- ・上下水道施設の適切な維持管理と計画的な更新・長寿命化・耐震化
- ・水道事業の安定的な運営のための組織・人材育成
- ・浸水被害軽減のための雨水対策施設の計画的な整備
- ・下水道施設の維持管理の効率化

主要施策（案）

1. 特性を生かした土地利用の推進

- 【主な取組（案）】
- ・秩序ある土地利用の推進
 - ・地域の特性を生かしたまちづくりの推進
 - ・地籍調査の推進

2. 快適な生活環境の整備

- 【主な取組（案）】
- ・潤い・憩いのある生活空間の整備・充実
 - ・公共・公益施設のバリアフリー化の推進
 - ・公園の適正管理

3. 港湾整備の促進

- 【主な取組（案）】
- ・港湾機能の充実
 - ・港湾の利用促進

4. 道路網の整備

- 【主な取組（案）】
- ・安全・安心な道路環境の整備
 - ・利便性の高い道路網の整備
 - ・広域幹線道路の整備促進
 - ・橋梁の長寿命化

5. 上下水道の充実

- 【主な取組（案）】
- ・安全・安心な水の安定的な供給
 - ・汚水処理の適正な管理
 - ・雨水対策の推進（関連 2-4-1）
 - ・上下水道施設の更新・長寿命化・耐震化の推進
 - ・事業運営基盤の強化

6. 河川の整備と活用

- 【主な取組（案）】
- ・河川整備の推進
 - ・親水環境・景観の充実
 - ・美化活動の推進

持続可能な開発目標（SDGs）



4-1 多様な主体の参画によるまちづくり【未】


時代潮流・国の動き等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティの希薄化、地域活動の担い手不足、高齢化 ・ 地域ニーズの多様化への対応と市民主体のまちづくり推進 ・ SNS等を通じた行政情報の提供・発信の動き ・ コロナ禍の影響による広報広聴活動やまちづくり活動の自粛

関連データ等からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会加入世帯の減少、加入率の低下 ・ ホームページアクセス数の増加

市民意識調査結果からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・ 参画と協働に対する満足度、重要度はともに平均値より高く、重要度は前回調査と比べて大きく増加 ・ 参画を促進する体制については、満足度、重要度ともに低く、重要度は全施策中最も低い

広聴事業での主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な市民協働のための有償ボランティア、協働事業の単価の見直し、稼げる仕組みづくり ・ 地域活動を牽引する人材の育成 ・ 若者の地域とのつながりの創出、活動しやすい環境づくり ・ 市民団体、地域振興会、行政の連携、対等に対話できる場の創出、成功事例の横展開、情報一元化・プラットフォームの設立 ・ 活動拠点の整備、事務局機能の強化支援 ・ 高等教育機関と連携したDX推進モデル地区 ・ 射水市の魅力を市内外へ発信・PR

現行計画の評価での課題・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動の担い手の確保、後継者の育成に向けた支援 ・ ポストコロナ時代の広報広聴体制の検討 ・ 地域の将来像・目標を共有した高等教育機関等との連携協力の推進 ・ ユーチューバーとの連携等による女性・若者向け情報発信

主要施策（案）
<p>1. 協働・参画の体制・仕組みづくり</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働・参画意識の醸成 ・ 活動を牽引する人材の育成 ・ 多様な主体との連携促進・ネットワークづくりへの支援 ・ 活動に対する支援 ・ コミュニティ・ビジネス、NPO活動の推進
<p>2. 学生が参画するまちづくりの推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生のまちづくり推進体制の整備・充実 ・ 地域活動への参画機会の充実 ・ 高等教育機関等との連携強化 ・ 市内県立高等学校との連携強化
<p>3. シティプロモーションの推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様なメディアを活用した情報発信 ・ SNSの活用 ・ インフルエンサー等との連携
持続可能な開発目標（SDGs）
 <p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p>

4-2 戦略的かつ健全な行財政運営【未】

時代潮流・国の動き等
<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードを活用した各種手続の電子化による市民利便性の向上と適正かつ安定的な運用 ・人口減少・少子高齢化、コロナ禍の影響等に伴う税収減少、社会保障費の増加、公共施設の老朽化に伴う維持管理コストの増加 ・合併特例債の発行終了、普通交付税一本算定への移行
関連データ等からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・実質公債費比率及び将来負担比率の減少（改善）
市民意識調査結果からみる課題・特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・健全な行財政運営に対する満足度、重要度はともに高い ・信頼される市政については、満足度、重要度ともに低い
広聴事業での主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・市長のリーダーシップによる市民目線での地域の実情に合った政策推進 ・市政運営、財政運営にかかる市民理解、透明性の確保 ・廃校・園の有効活用 ・DX導入、市有施設・事業の縮減、広域連携等による行政の効率化 ・外部機能・資金の活用 ・職員の意欲、資質の向上のための取組の推進
現行計画の評価での課題・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・多様な納付環境の整備・周知による納税者の利便性向上 ・スマート窓口の実現による市民の利便性向上と職員の事務負担の軽減 ・有利な地方債の活用、基金積立や繰上償還など健全な財政運営 ・効率的かつ柔軟な組織体制の構築と適正な人員配置 ・公共施設の長寿命化・再編、効率的かつ適正な維持管理と安全性の向上、民間事業者等との連携・活用の推進 ・基幹系システムの国の標準システムへの移行、オンライン申請の連携についての県内市町村との協議・調整

主要施策（案）
<p>1. 信頼される市政の推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民サービスの充実 ・透明で公正な市政運営
<p>2. 公共施設マネジメントの推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設個別施設計画の着実な推進 ・民間活力の導入促進
<p>3. 健全な行財政運営の推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的・効率的な行政運営の推進 ・柔軟な組織体制の構築と職員の人材育成 ・健全な財政運営の推進
<p>4. 広域的なまちづくりの推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま呉西圏域連携中枢都市圏の取組強化 ・他自治体との連携
<p>5. 電子自治体の推進</p> <p>【主な取組（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用した市民サービス向上・業務効率化 ・情報セキュリティ対策の強化
持続可能な開発目標（SDGs）
